



TITLE:

<技術・研究報告>田辺湾周辺海域  
の腔腸動物 立方水母目(刺胞動物門  
、立法クラゲ綱)

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. <技術・研究報告>田辺湾周辺海域の腔腸動物 立方水母目  
(刺胞動物門、立法クラゲ綱). 瀬戸臨海実験所年報 1998, 11: 33-34

ISSUE DATE:

1998-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178947>

RIGHT:

## 田辺湾周辺海域の腔腸動物 立方水母目 (刺胞動物門, 立方クラゲ綱)

久保田 信

Faunal list of Coelenterata collected from Tanabe Bay and its vicinities.  
Order Cubomedusae (Phylum Cnidaria, Class Cubozoa)

SHIN KUBOTA

立方クラゲ綱(=箱虫綱), 立方水母目の各種のクラゲが, いかなるポリプからどのように遊離するかは十分に解明されてはいない。ポリプが極めて小さく, 野外から発見されるチャンスがほとんどないためである。しかし, 数種では実験室での飼育によりポリプの形態が判明し, それらはいずれもヒドロポリプの個虫に類似し, 単体で, 口丘の周囲に一環列の有頭状の触手を備え, 成長すると, 小さな娘ポリプを出芽し増殖する。この娘ポリプは蠕虫状のもので, 母ポリプを離れ, 底面をはいまわり分散する性質をもつ。繁殖時期には, ポリプは1個虫が後を残さずすっかり若いクラゲに変態する。この未成熟クラゲはプランクトン生活の後, 成熟クラゲとなり, 有性生殖により子孫をつくる。

上記のような生活史をたどる立方水母目では, クラゲは, ヒドロ虫類および鉢水母類のクラゲと類似するものの, 以下のような特徴の組み合わせで区別される。擬縁膜をもつ, 葉状体をもつ, 傘が立方形で比較的大形, 中

膠の寒天質が薄い, 感覚器は4個, 口柄は短く内傘から外へ突き出さない, 口唇は4, 口腕は形成されない, 口触手はない, 胃糸をもつ, 傘縁に縁弁はない, 触手は傘縁に4本あるいは4群, 生殖巣は間軸部に葉状に形成される。この目は刺胞動物門の中では, マイナーな分類群で, 飼育が困難なこともあって, 分類学的諸問題が充分には解決されていない(Kramp, 1961などを参照)。

田辺湾周辺海域からは, 立方水母目のクラゲとして2属3種が記録されているにすぎない。世界で8属以下で, 各属とも種数は限られている。日本からは既知の属・種の半数ほどが知られている(Uchida, 1970などを参照)。従って, 日本では, 田辺湾周辺海域に比較的多様の立方水母類が見られることになる。以下のリスト(学名のアルファベット順に示す)では, 同物異名は[ ]中に並記し, 和名があればそれを付した。リスト中に, 瀬戸(白浜)付近が模式産地となっている種はない。

### 田辺湾周辺海域の立方水母目リスト

#### クラゲ

*Carybdea rastonii* Haacke, 1886 アンドンクラゲ

*Carybdea sivickisi* Stiasny, 1926

*Tamoya haplonema* F. Müller, 1859 ヒクラゲ [*T. alata* (Raynaud, 1830); *T. bursaria* Maas, 1903; *T. bursalis* Haeckel, 1880; *T. virulenta* Kishinouye, 1910)]

## 参 考 文 献

- Komai, T. & Ikari, J. 1929. The Seto Marine Biological Laboratory of the Kyoto Imperial University. Its equipment and activities, with remarks on the fauna and flora of the environs. (A revised article). *Rec. Oceanogr. Works in Japan*, 1(3): 113-129, pls. 27-35.
- Kramp, P. L. 1961. Synopsis of the medusae of the world. *J. mar. biol. Ass. U.K.*, 40: 1-469.
- 時岡隆. 1982. 「海の生物」 白浜町誌 自然編 白浜の自然. pp. 165-233, 白浜町.
- Uchida, T. 1926. Scyphomedusae preserved in the Seto Marine Biological Laboratory. *Zool. Mag.*, 38(457): 383-384. (In Japanese: 京大瀬戸臨海研究所の鉢水母)
- . 1929. Studies on the stauromedusae and cubomedusae, with special reference to their metamorphosis. *Japan. J. Zool.*, 2(2): 103-193, pls. 3-5.
- . 1970. Revision of Japanese cubomedusae. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 17(5): 289-297.
- Yamazi, I. 1958. Preliminary check-list of plankton organisms found in Tanabe Bay and its environs. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 7(1): 111-163.